

栽培漁業（2単位）

必修

2年アクアライフ科

授業の概要	（内容） ”作り育てる漁業”といわれる栽培漁業の基礎を学びます。 水産生物の生態や飼育方法のほか、海洋環境についても学習します。		到達目標	栽培漁業の意義と目的を理解し、水産生物の増養殖に関する基礎的な知識を身につけよう。 また、各魚種の飼育や産卵実習を通して水産生物の栄養特性や病気の予防など管理技術を身につけよう。	
	（形態） 講義・実習				
年間の授業計画	項 目			内 容	
	一学期	4	栽培漁業の概要	・オリエンテーション	
		5		・漁業の歴史を通して、現在の水産資源の現状と栽培漁業の必要性を理解しよう。	
		6	水産生物の生産方法	・主な水産生物の生態と育て方について学習します。	
		7			
	二学期	9	主な栽培技術	・生産、放流、漁場の改善、など一連の栽培技術について学習します。	
		10			
		11	水産生物の飼料と栄養	・陸上動物と比較しながら水産生物の餌（栄養）の特徴について学習します。	
	12				
三学期	1	魚の疾病 バイオテクノロジーの 基礎技術	・魚の病気について学び、その発生原因や予防の方法について学習します。		
	2		・現在、さまざまな産業分野で注目を集めているバイオテクノロジー技術について学習します。		
	3				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書・ノートを忘れずに準備しよう。 ・授業はアクアライフ科生物実験室で行います。時間に余裕を持って教室に入り、準備をしよう。 ・定期的にノート提出をしてもらいます。授業への参加態度や欠課時数とあわせて学期の平常点の評価になるので確実に記入し、提出しよう。 ・実習、実験を行います。その際、グループの仲間と協力し、積極的に活動しよう。 				
評価方法	ペーパーテスト70%		平常点30%		
	中間考査・期末考査の成績について総合的に評価します。 考査（中間・期末）点数の平均値の70%を学期評価点数とします。		授業への参加状況（意欲）やノートの提出状況について総合的に評価します。 ・教材の準備状況 ・出席状況 ・授業への参加意欲 ・ノートの提出		
教材	教科書 『栽培漁業』（海文堂）		アドバイス	アクアライフ科の学習内容の基礎となる科目です。まず、漁業の歴史を知ることによって、栽培漁業の必要性を理解し、水産生物の生態に興味をもって学習して下さい。	